

# 日本食品分析学会誌投稿規程

## 1. 総則

1.1.1 本学会誌は日本食品分析学会誌（Journal of Japanese Society for Food Analysis）とし、年4回発行する。

## 1.1 掲載論文の分野

研究論文を投稿するにあたって、次のどの分野に投稿するかを決めること。

1. 分析法の開発 2. 食品成分の分析 3. 官能検査 4. 食品の物性 5. その他

## 1.2 投稿者の資格

著者のうち一人は会員（正会員または学生会員）であることが望ましい。ただし非会員のみの場合は審査料（8000 円）を申し受ける。

## 1.3 論文審査の方法

電子投稿された論文は担当編集委員が決められ、担当編集委員が最低2名の査読者を選定し、査読を行う。投稿された論文が、本学会の目的に適うものであるか、オリジナリティーがあるか、新規の事実を含むものであるか、論文の体裁が本誌の要求するものであるか、などの観点から採否を決定する。査読者の結果を尊重し、担当編集委員は採択、修正後採択、修正後再度採否決定、採択不可を決定し、投稿者に結果を伝える。修正を求められた場合は、1ヶ月以内に修正論文を提出しなければならない。ただし期日までに完成できないときは担当編集委員と相談すること。採択されたものはオンラインジャーナルに掲載される。担当編集委員によって採択された日を受理日とする。採択不可となった結果について異議ある場合は、編集委員長に再検討を申し出ることができる。

## 1.4 掲載論文の著作権

著作権は日本食品分析学会に帰属するものとする。

## 1.5 投稿論文の全著者による同意と責任

投稿者は投稿にあたって全著者から本誌に投稿することの同意と、本誌以外に掲載決定や投稿中でないことの確約をとること。

## 1.6 掲載論文の言語

論文は日本語（和文）または英語（英文）とする。

## 1.7 ヒトを対象とした論文および動物を用いた論文における遵守事項

ヒトを対象とした研究は生命倫理規定、ヒトゲノム倫理規定などの倫理規定に従い、所属機関の倫理委員会等での審査に合格していなければならない。動物を用いたものは動物実験指針に沿ったもので所属機関の委員会等の審査を経たものでなければならない。

## 2. 論文の種類

### 2.1 報文

### 2.2 研究ノート

### 2.3 総説

### 2.4 資料

## 2.5 博士論文要録

## 2.6 掲載料および別刷代

投稿料は無料。掲載料は J-STAGE 登録代として会員は 8000 円、非会員は 15000 円を徴収する。印刷体の別刷り代金は編集委員会が秋田活版印刷㈱に依頼するので、支払いは直接著者が行う。

## 執筆要領

### 3. 原稿の書き方

3.1 一般的注意 投稿された論文はそのままオンラインジャーナルに掲載されるので、以下に述べる形式に沿っていなければならない。もし編集委員会で形式を修正する場合は実費を請求する。用いる用紙は A4 サイズで、フォントは、日本語は明朝体 11 ポイント、英文は Times New Roman 体 11 ポイントを使用すること。

3.2 論文の形式 原則として研究の背景 (Introduction)、材料・方法 (Materials & Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion)の順にまとめる。ただし研究ノート、資料、博士論文要録に関しては、必ずしもこの順でなくともよい。

### 3.3 表紙 (最初の頁) と最終頁

A4 用紙 1 段組みで、本誌が提供する最初のページ (学会 HP 参照) に論文の種類、分野、日本語 (和文) 及び英語 (英文) のタイトル、要約、キーワード、著者全員の氏名、所属を記し、最後の頁に責任著者の連絡先郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス等を記載する。また半角 30 文字以内のランニングタイトルを上部に英文で記す。

### 3.4 本文

A4 サイズ 1 段組みで、図表は 1 ページに納めること。

### 3.5 図、写真および表

図、写真は 解像度を入れる。

### 3.6 脚注

用紙下段に記載する。

### 3.7 引用文献

本文中に (著者名, 年号) を記し、ABC 順に本文の後ろに記すこと。全著者氏名、発行年、タイトル、雑誌名、巻、ページの順に記すこと。

### 3.8 物質の略称および表示法

化合物名は原則として IUPAC の命名法に従う。文中で略号を用いてもよいが、初出の時点で明確に定義すること (ex. benzoic acid (BA))。元素記号及び簡単な無機化合物の化学式は、紛らわしくない場合は用いてよい。

3.9 物理量の記号、単位及び使用は原則として IUPAC の規約に従う。単位は特別の理由のない限り S I 単位を用いる。S I に属さない単位を用いるときにはあらかじめその定義を明示しなければならない。ただし、慣用的に用いられている単位 (その例を付記 A に示す) に関してはその限りではない。

付記A 定義を省略してよい非 S I 単位の例

物理量の例	名 称	記号	定 義
長さ	オングストローム	Å	$10^{-10} \text{ m}$
質量*	トン	t	Mg
時間	分	min	60 s
時間	時	h	3600 s
時間	日	d	86400 s
平面角	度	°	$(\pi/180)\text{rad}$
平面角	分	'	$(\pi/10800)\text{rad}$
平面角	秒	"	$(\pi/648000)\text{rad}$
体積*	リットル	L	$\text{dm}^3$
体積*	ミリリットル	mL	$\text{cm}^3$
体積*	マイクロリットル	μL	$\text{mm}^3$
圧力	気圧	atm	101325 Pa
圧力	ミリメートル水銀柱	mmHg	$13.5951 \times 9.80665 \text{ Pa}$
圧力	トル	Torr	$(101325/760)\text{Pa}$
エネルギー	カロリー	cal	4.16 J
エネルギー	キロカロリー	kcal	4.16 kJ
エネルギー*	電子ボルト	eV	約 $1.6022 \times 10^{-19} \text{ J}$
エネルギー*	メガ電子ボルト	MeV	約 $1.6022 \times 10^{-13} \text{ J}$
磁束密度	ガウス	G	$10^{-4} \text{ T}$
モル濃度	—	M	$\text{mol dm}^{-3}$
モル濃度	—	mM	$\text{mol m}^{-3}$
モル濃度	—	μM	$\text{mmol m}^{-3}$

\* 精密な値を示すときには使用しないこと。

#### 4. 投稿方法

- 4.1 投稿の手続き（オンライン投稿の方法） Web ページから投稿すること。
- 4.2 投稿者と編集委員とのやりとり 電子メールで行う。
- 4.3 編集員と査読者とのやりとり 電子メールで行う。
- 4.4 著者校正

投稿されたものをそのまま掲載する。形式が合わない場合は著者に連絡の上、編集委員会

で修正した場合は実費を支払うものとする。

5. 英文校正

5.1 日本語を英語に翻訳して論文作成する際にはグーグル翻訳 (<https://translate.google.co.jp/>) は参考となる。

5.2 英語原稿については、ネイティブによる英文校閲を受けたことの証明書を cover letter に添付することが望ましい。

(2018 年 4 月現在)